

2. 事業報告

I 公益目的事業

公益1 人と動物が共生する健全な社会の形成を図る事業

狂犬病等の人と動物の共通感染症の発生を予防し、動物の愛護・適正管理の普及・啓発を通じ、公衆衛生の向上や人と動物が安心して暮らせる健全な社会の発展を目指すことを目的に事業を実施した。

1) 狂犬病予防及びその知識の普及・啓発に関する事業

・ 集合注射の実施頭数

区分	集合注射実施日程	延日数	会場数	注射実施頭数
門司区	4月2日 ～ 4月9日	6 日間	29 会場	435 頭
小倉北区	4月16日 ～ 4月23日	6.5	25	644
小倉南区	4月2日 ～ 4月15日	10	40	1,025
若松区	4月12日 ～ 4月19日	6	27	419
八幡東区	4月18日 ～ 4月22日	4	18	299
八幡西区	4月2日 ～ 4月14日	9	39	1,108
戸畑区	4月15日 ～ 4月16日	2	10	141
合 計		43.5	188	4,071

・ 個々注射の実施頭数

(単位:頭)

	門司区	小倉北区	小倉南区	若松区	八幡東区	八幡西区	戸畑区	合計
4月	701	1,661	2,324	737	507	1,926	397	8,253
5月	302	901	1,247	305	291	894	201	4,141
6月	133	338	492	129	170	381	75	1,718
7月	58	202	210	68	97	183	44	862
8月	57	99	135	29	72	108	27	527
9月	32	120	118	37	51	92	20	470
10月	44	144	175	43	60	141	35	642
11月	39	113	137	36	80	93	22	520
12月	55	103	90	28	99	96	24	495
1月	16	52	53	9	51	61	7	249
2月	7	13	25	5	21	32	2	105
3月	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	1,444	3,746	5,006	1,426	1,499	4,007	854	17,982

2) 人と動物の共通感染症予防及びそれらの知識の普及・啓発に関する事業

会員獣医師を通じて、学校及び一般市民へ人獣共通感染症の予防及び正しい知識の普及啓発を行った。

開催年月日	主催	開催場所	講習内容
3.11.30	北九州市 北九州市医師会 北九州市獣医師会	北九州市役所 本庁	「ワンヘルス推進宣言式」
4.2.12	福岡県 “One Health” 国際フォーラム 実行委員会	Web開催	福岡県“One Health”国際フォーラム2022 (ライブ配信) ・開会式 ・基調講演1 ・基調講演2 ・県民講座 (オンデマンド配信) 開会式/基調講演/県民講座/分科会

3) 動物愛護・保護普及啓発事業

動物愛護週間に合わせ関係機関と協力し動物愛護の啓発活動を行っている。

主 催 北九州市獣医師会、北九州市、

①動物の無料なんでも相談(健康相談等)

実施期間 9月20日(月・祝)～9月26日(日) 休診日を除く午前中
場 所 獣医師会会員の動物病院等

内容別相談件数

相談分類	件数
I 病気について	件
1 内科－寄生虫・伝染病・その他	255
2 外科－整形・手術・その他	78
3 産科－出産・その他	30
4 皮膚科	122
5 その他	176
II 公衆衛生関係	
1 不要ペットについて	2
2 死亡したペットについて	5
3 飼育上のトラブルや苦情について	17
4 動物の輸送方法について	7
5 その他	27
III 野生動物関係	
1 野生動物の取扱について	7
2 野生動物の飼育について	1
3 その他	10
合 計	737

動物別相談件数

種類	件数	種類	件数
犬	361	モルモット	2
猫	260	とり	1
ウサギ	10	フェレット	1
ハムスター	4		
合 計	639 件		

相談者のペット飼育の有無

有	無	合 計
481	41	522

②動物愛護デー事業

北九州市と共催で開催している動物愛護デーを、令和3年9月20日(月・祝)にリバーウォーク北九州にて開催の予定であったが、コロナウイルス感染症の感染拡大状況を鑑み、中止になった。

しかし、予定していた長寿犬・長寿猫の表彰と図画作品の入賞者表彰については、賞状と副賞を配布した。

○長寿犬表彰

登録されている犬のうち、狂犬病予防注射実績がよく、飼養管理が行き届いた高齢犬を長寿犬として表彰した。

表 彰 者	愛 称	種 類	性 別	年 齢
北九州市獣医師会長賞	レオ	ミニチュアダックス	オス	20

○長寿犬・長寿猫表彰(北九州市獣医師会による表彰)

平成25年度より各病院から推薦された犬1頭・猫1頭を、本会独自の長寿犬・長寿猫とし表彰を行っており、今年度は犬21頭、猫23頭を表彰した。

○作品表彰

動物愛護図画(小学生) 応募総数:493点

表 彰 者	表彰者数
北九州市獣医師会長賞	15名

4) 学校飼育動物支援事業

・ 学校飼育動物支援協議会

開催年月日	出席者・人数(名)	会議の内容
3.6.28	教育委員会 1 動物愛護センター 1 到津の森公園 1 獣医師会 3	1 昨年度の事業実施状況及び協議会活動状況について 2 今年度の活動計画について
3.8.23	教育委員会 1 動物愛護センター 1 到津の森公園 1 獣医師会 5	令和3年度北九州市学校・園シンポジウムの オンデマンドの予行演習
4.3.14	教育委員会 1 動物愛護センター 1 到津の森公園 1 獣医師会 3	1 今年度の活動状況 2 今年度の実施状況 3 来年度の活動計画について

・ 学校飼育動物支援協議会活動状況

開催年月日	出席者・人数(名)	会議の内容	会場
3.8.16	教育委員会 2 獣医師会 2	今後の学校飼育動物支援事業の展望	獣医師会館
3.8.27	学校飼育担当 25校・園 教育委員会 1 動物愛護センター 1 到津の森公園 1 獣医師会 5	令和3年度北九州市学校・園シンポジウム 「学校・園動物飼育の教育的意義について」	Web開催
3.10.4	譲渡校 1校 教育委員会 1 動物愛護センター 1 獣医師会 2	モルモット譲渡式 ・モルモットの飼い方 ・モルモット譲渡	到津の森公園

・ 学会、講演会等

開催年月日	学会、講演会名	学会、講演の内容	開催地
3.9.12	第23回 全国学校飼育動物研究大会 オンラインセミナー	『飼ってよかった』と実感する動物飼育 ・講演 「学校における望ましい動物飼育のあり方」 ・口頭発表 ・質疑応答	Web開催
4.3.11 ） 4.3.31	日本獣医師会 学校動物 飼育支援対策検討委員会	学校動物飼育支援対策シンポジウム 「子どもたちの心を育てる学校動物飼育」	オンデマンド配信

・ 学校訪問（訪問数 9 校）

開催日	実施校・園名	開催日	実施校・園名
3.4.15	霧ヶ丘幼稚園	3.11.4	松ヶ江北小学校
7.8	日明小学校	11.8	折尾東小学校
9.28	城野小学校	11.11	南丘小学校
10.15	深町小学校	4.1.18	折尾西小学校
10.25	熊西小学校		

・ ふれあい授業（訪問数 10 校）

開催日	実施校・園名	開催日	実施校・園名
3.4.26	霧ヶ丘幼稚園	3.10.19	深町小学校
4.27	霧ヶ丘幼稚園	11.9	熊西小学校
4.28	霧ヶ丘幼稚園	11.16	松ヶ江北小学校
7.15	日明小学校	11.18	南丘小学校
10.7	城野小学校	11.24	西小倉小学校

・ 学校飼育動物診療相談依頼件数 18 件

5) 適正な管理に関する事業

北九州市獣医師会は、動物の愛護、生命尊重、人と動物との共生の支点到立ち、平成12年度からメス猫の不妊手術費の一部助成を実施している。北九州市からもその成果が認められ平成16年度から補助金が交付されるようになり、メス犬も助成金の対象とした。また、平成20年度からは動物愛護センターのワンニャン譲渡会で引き取られたメス猫にも手術費用の助成を行っているが、今年度はコロナウイルス感染症の流行のため譲渡会の開催はなかった。

・令和3年度捨て猫・捨て犬防止キャンペーン事業 応募者数及び当選者数

【メス猫】

区分	総数		一般応募		手術済		ワンニャン譲渡会	助成金交付
	応募	当選	応募	当選	応募	当選		
門司	146	32	103	20	43	12	0	29
小倉北	158	34	126	27	32	7	0	29
小倉南	180	36	130	24	50	12	0	35
若松	46	10	28	6	18	4	0	10
八幡東	81	21	54	12	27	9	0	15
八幡西	156	39	97	25	59	14	0	26
戸畑	49	8	35	6	14	2	0	9
合計	816	180	573	120	243	60	0	153

【メス犬】

区分	総数		一般		手術済		助成金交付
	応募	当選	応募	当選	応募	当選	
門司	36	9	16	5	20	4	7
小倉北	33	9	16	3	17	6	9
小倉南	75	17	23	5	52	12	15
若松	16	3	7	2	9	1	2
八幡東	14	5	11	4	3	1	4
八幡西	38	6	8	1	30	5	6
戸畑	3	1	1	0	2	1	1
合計	215	50	82	20	133	30	44

【メス猫・メス犬】

総数	1,031	230	655	140	376	90	197
----	-------	-----	-----	-----	-----	----	-----

6) 災害時の動物救済支援対策事業

災害時の動物救護活動の拠点として九州動物福祉協会が設置・運営している九州災害時動物救済センターへの支援義援金募金の募金箱を会員の病院に設置し、集まった150,381円を同センターへ振り込んだ。

九州地区獣医師会連合会では、大規模災害時において被災地域の獣医師会を周辺獣医師会から協力支援ができるよう、救護体制の充実・強化を図ろうと九州VMATを養成している。

本会からも9人がVMAT隊員の認定を受けている。本年度の合宿訓練は企画から参加し、Webで開催され4人の隊員が参加した。来年度の合宿訓練についての会議にも5人が参加した。

さらに、VMATの活動・災害時の動物同行避難等について、広く福岡県民に周知するため、福岡県獣医師会から協力依頼があり「わんだふる！福岡宗像2021」に参加し広報活動を行った。

災害時対策委員会では、豪雨などの発生時に災害等確認シートと災害対応確認シートを会員へ発信し、安否等の確認や動物の救護体制の把握を行った。

また、北九州市との災害時におけるペット救護対策に関する協定について、締結に向け継続して協議を行っている。

7) 盲導犬利用者支援事業

平成3年度より公益財団法人九州盲導犬協会や盲導犬利用者からの要請により、市内で活躍している盲導犬や引退したリタイア犬に対し、混合ワクチンの無料接種並びに犬フィラリア症予防剤の無料交付を実施している。令和3年度も会員の協力により5頭の盲導犬と3頭のリタイア犬に対して診療特別措置を行った。

また、会員病院に設置している募金箱等に集まった71,031円を盲導犬協会へ振り込んだ。

8) ワンニャン譲渡会への支援事業

飼い主不明の犬猫を新しい飼い主に譲渡するため、北九州市愛護センターが「ワンニャン譲渡会」を開催し、譲渡される飼い主に適正飼育の啓発を行っているが、今年度はコロナウイルス感染症流行のため譲渡会は開催されなかった。

9) 救急獣医療事業

動物生命の尊厳の追及と動物愛護の啓発向上を目的に救急獣医療体制の整備充実を公益目的達成の重要課題と位置づけ平成27年6月3日夜間救急動物病院を開院した。

また、夜間救急動物病院において北九州市と連携し所有者不明の負傷動物の治療、災害発生時におけるペットの保護収容、学校飼育動物に対する夜間の診療を実施している。

令和3年度は所有者不明の負傷動物の猫7件の治療を行い、学校飼育動物の治療の依頼はなかった。

公益2 獣医学術、獣医療の専門的知識・技術の普及並びに人材育成を図る事業

獣医師個々の診療技術や知識の向上を目的に事業を実施した。

1) 学会、講習会、研修会等

本年度はコロナウイルス感染症流行のため、本会主催講習会及び九州地区獣医師会主催講習会の開催はなかった。

2) 獣医学術地区学会事業及び地区大会事業の共催

・ 第70回九州地区獣医師大会並びに令和3年度獣医学術九州地区学会に関する事項

第70回九州地区獣医師大会並びに獣医学術九州地区学会は、宮崎県獣医師会の担当で本大会は中止になったが、学会はWebオンデマンド方式により、令和3年10月22日(金)～31日(日)の期間開催された。

大会は中止となったが、昨年同様に功労者等の表彰は実施されることになり当会から、江島宏行先生が九州地区獣医師会連合会会長賞功労者表彰を受けた。

学会では、当会から小動物臨床会員の安藤崇則先生が発表し、九獣連会長賞を受賞した。

(表彰者)

・九州地区獣医師会連合会会長表彰

【功労者】

氏名	所属
江島宏行	小動物臨床会員

(本会会員の学会発表)

・小動物獣医学会

1. 僧帽弁形成術を実施した僧帽弁異形成の犬の1例

発表者 安藤崇則 (小動物臨床会員)

令和3年度 獣医学術九州地区学会長賞
九州地区獣医師会連合会長賞、奨励賞
フレッシュャー・アワード、若手奨励賞 受賞演題

学会区分	会場	表彰区分	演題番号	演題及び発表者氏名
産業動物獣医学会	第一会場	地区学会長賞	8	離乳前子牛におけるルーメンマットの物理性と免疫との関係 阿部 信介 (宮崎県)
		九獣連会長賞	5	肺炎罹患牛232頭の気管支肺胞洗浄液からの細菌分離と薬剤感受性 田原 和貴 (鹿児島県)
		奨励賞	7	多様な飼養形態において黒毛和種子牛の免疫能に影響を与える飼養管理とは？ 今泉 法子 (宮崎県)
	第二会場	地区学会長賞	4	乳房炎発症ホルスタイン種の乳汁から分離された大腸菌に対するオルビフロキサシンのバイオフィルム形成阻害作用 河野 亜紀 (鹿児島県)
		九獣連会長賞	19	黒毛和種子牛における銅中毒と診断された1例 波津久 香織 (大分県)
		奨励賞	2	大分県内の黒毛和種子牛で発生したExREC感染症の解析と考察 磯村 美乃里 (大分県)
小動物獣医学会	地区学会長賞	17	犬の高IgM症候群:CD40リガンド遺伝子の点変異を特定できたトイプードルの一家計 金子 泰之 (宮崎県)	
	地区学会長賞	27	咽頭虚脱および動的漏斗胸を呈した呼吸困難の短頭種気道症候群に対して、鼻翼溝を利用した外鼻孔拡大術を実施した猫2例 末松 正弘 (大分県)	
	九獣連会長賞	19	僧帽弁形成術を実施した僧帽弁異形成の犬の1例 安藤 崇則 (北九州市)	
	九獣連会長賞	30	外科切除を行った頭蓋内伸展した悪性末梢神経鞘腫瘍の犬の1例 長井 新 (熊本県)	
	フレッシュャー・アワード	18	3度根分岐部病変に対し顕微鏡下歯周組織再生療法を行った犬の1例 樋口 翔太 (大分県)	
	フレッシュャー・アワード	16	蛋白漏出を伴う慢性腸症の治療中に消化器型高グレードリンパ腫を発症した犬の5症例 篠崎 春香 (福岡県)	
	フレッシュャー・アワード	31	椎間板ヘルニア犬54例における血漿CPKとCRPの進行性脊髄軟化症との関連性の検討 杉山 慶樹 (福岡県)	

獣医公衆衛生学会	地区学会長賞	2	馬の多包虫症におけるLAMP法を用いた迅速的な診断方法の開発 一三三 達郎 (鹿児島県)
	九獣連会長賞	5	牛枝肉のシミ発生率に影響を及ぼす生体およびと畜処理要因の検証 遠矢 宏美 (宮崎県)
	若手奨励賞	9	と畜場搬入豚におけるEscherichia albertii保菌状況調査 中村 昂紀 (鹿児島県)
	若手奨励賞	3	と畜場の衛生管理と動物福祉に関する消費者への意識調査 三浦 桜子 (大分県)

Ⅱ 収益事業

1) 会館貸し館事業

会員等が学術を目的として、会館の利用を行った。又、会館利用者の利便性を高めるため、自動販売機を設置している。

Ⅲ その他事業(相互扶助等事業)

1) 損害保険、総合生命福祉共済事業

日本獣医師会が取り扱う保険について会員へ周知を図り、希望者への取り次ぎを行った。

2) 慶弔・見舞金

会員への慶弔を行った。

3) 畜産振興支援事業

・小倉牛枝肉共進会

北九州市は、平成元年から市内産黒毛和種牛のうち、肉質の良いものを「小倉牛」と命名しブランドの確立を図り、生産農家の育成指導と需要の拡大に努めてきた。その結果、今では「小倉牛」は高品質な牛肉として市民に広く定着している。

共進会では生産者の生産意欲及び生産技術の向上を目指して、優秀な成績を収めた生産者を表彰している。当獣医師会では、北九州市における畜産振興を奨励するため、優秀者への表彰など毎年協力を行っていたが、本年度は市内生産農家の肥育牛飼養頭数の減少に伴い開催が難しい状況にあるため、中止になった。